

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-65197

⑤ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)4月13日

D 21 H 5/00
B 32 B 13/08
E 04 C 2/26

7921-4L
2121-4F
A-6730-2E

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 石膏ボード用表板紙

⑯ 特 願 昭58-169710

⑰ 出 願 昭58(1983)9月13日

⑱ 発 明 者 藤 原 正 好 兵庫県多紀郡篠山町泉(番地なし)

⑲ 出 願 人 サンロック工業株式会 大阪市南区島之内1丁目15番29号
社

⑳ 代 理 人 弁理士 石田 定次 外1名

明 細 書

1 発明の名称

石膏ボード用表板紙

2 特許請求の範囲

1、厚紙からなる基材1の表面に、鉱物性微粒子粉末、接着剤、撥水剤、防カビ剤を含有する特殊層2を形成したことを特徴とする石膏ボード用表板紙。

3 発明の詳細な説明

本発明は、壁紙の貼り替え作業を容易かつ経済的に短時間で行えるようにした石膏ボード用表板紙に関するものである

一般に石膏ボードは、石膏、水、発泡剤等の混練物を表板紙と裏板紙との間に配した後、成形、乾燥して製造するものである。

従って、石膏ボード用表板紙には、石膏ボードの乾燥の際に水分が飛散できるように通気性を有すること、この水分の吸収、飛散によっても収縮したり、波打ったりしないこと等の特性が要求され、その素材は、主として、新聞古紙等を配合し

た厚紙が使用されている。

そして従来は、この石膏ボードの表面に壁紙等を貼着して使用していた。

該壁紙の汚染、破損、室内の模様替え等によって、新しい壁紙に貼り替え再施工する場合、元の壁紙を剥がす際、壁紙の一部が石膏ボード用表板紙の表面に残存したり、石膏ボード用表板紙の一部が壁紙と一緒に剥離したり、又、石膏ボード用表板紙自体が壁紙と共に剥離したりして、剥離面に凹凸を生じ、残存した紙を除去する等の剥離面を平滑にする作業を必要としたり、石膏ボード自体の張り替え等、多大の時間と労力と費用を要した。

本発明は前記欠点の改善した石膏ボード用表板紙に係るもので、壁紙の貼り替えを簡易、迅速、かつ、経済的に行えるようにしたものである。

本発明の石膏ボード用表板紙を実施例に基づいて説明するに、石膏ボード用表板紙は、主として新聞古紙等からなる基材1の表面に鉱物性微粒子粉末、接着剤、撥水剤、防カビ剤を含有してなる

剝離可能で自然剝離しない特殊層2を形成してなるものである。

尚、特殊層2は、乾燥後の固形分が1平方mにつき15～25gとなるようにする。

又、鉱物性微粒子粉末とはクレ-、タルク、酸化チタン等の微粒子状のものも含まれる。

配合例-1

クレ-	100
水	120
ポリビニルアルコール(10%)	60
撥水剤	10
防カビ剤	2.5

配合例-2

クレ-	85
水	120
酸化チタン	15
酢酸ビニルアクリル共重合体(45%)	15
撥水剤	10
防カビ剤	2.5

なお、前記配合例において撥水剤は、ジルコニ

3

表面上に一部分が残り、他は壁紙の接着剤表面上に残る。そしてこの時、壁紙の一部が剝れあるいは破損して基材側に残存することがなく、しかも、基材側に残存した特殊層2の表面は、あたかもペンキ仕上した如く凹凸がなく、かつ、損傷のない平滑面を出現し、壁紙の剝離が完全に行われる。

従って壁紙を剝離した後において、下地の調整をすることなく、直ちにその上から新たな壁紙を前述の要領で貼着することによって壁紙の貼り替えを成し得るものである。

また、本発明の石膏ボード用表板紙は、特殊層2に防カビ剤が配合されているので、結露の激しい壁面でも、カビに対し抗菌性を有し、防カビ効果を有する石膏ボード用表板紙を提供できる。

このように本発明の石膏ボード用表板紙は、表面に接着剤とクレ-等の鉱物性の微粒子粉末を配した特殊層2を形成しているため、壁紙を剝す際に、特殊層2の部分で剝離し、石膏ボード用表板紙に壁紙等が残らず、該表面を平滑にする必要も

ウム塩エマルジョン(33%)を使用し、防カビ剤は有効成分ベンズイミダゾール系化合物と含窒素硫黄系化合物の配合剤よりなるものを使用した。

又、特殊層2に撥水剤を入れるのは壁紙施工時に接着剤により特殊層2への浸透を防止し、完全な剝離をなす特性を侵されないようにするためのものである。

次に本発明の石膏ボード用表板紙は、従来の石膏ボード製造方法と同様に、本発明の石膏ボード用表板紙と裏板紙との間に石膏、水、発泡剤等の混練物を配し、成形、乾燥して、石膏ボード製品とするものである。

本発明の特殊層2は、壁紙4を貼着した時、基材1と接着剤あるいは再湿接着剤との間に位置するが、接着剤の接着効果を損なうことなく、長い年月を経過しても何等の異常もなく、恒久的な使用に耐えるものである。

次に壁紙を貼り替える場合には、第4図に示したように、壁紙の一端片をめくり上げると、前記の特殊層2の部分で剝離し、特殊層2は基材1の

4

なく、直ちに新たな壁紙を貼着することができ、素人でも簡単に壁紙の貼り替えができるものである。

本発明の石膏ボード用表板紙は、前記の如き特殊層2を形成しているため、剝離面を調整する必要がなく、そのための時間、労力、費用を節約でき、極めて経済的かつ能率的に壁紙の貼り替えをすることができる。

本発明の石膏ボード用表板紙は、特殊層2を形成しているため、接着剤の接着効果を損なうことなく、かつ長い年月を経過しても何等の異常もなく、恒久的な使用に耐えるものであるため、接着剤付きの壁紙でなければならないといった制約もなく、任意の壁紙を選択使用することができるものである。

4図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る石膏ボード用表板紙の一部切欠拡大断面図、第2図は本発明の石膏ボード用表板紙を配した石膏ボードの一部切欠拡大断面図、第3図は同石膏ボードに壁紙を貼着した状態

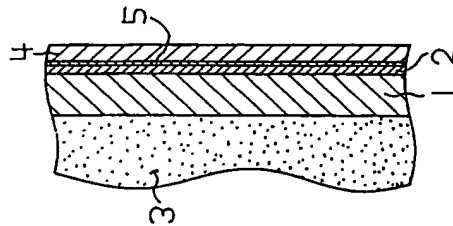
の一部切欠拡大断面図、第4図は壁紙を剥離する状態の一部切欠拡大断面説明図である。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 基材 | 2 特殊層 |
| 3 石膏層 | 4 壁紙 |
| 5 接着剤層 | |

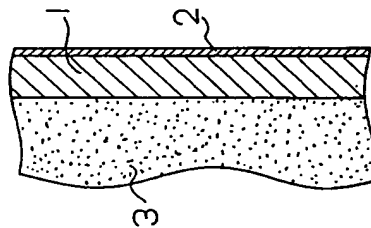
特許出願人 サンロック工業株式会社
 代理人 石田 定 外 1



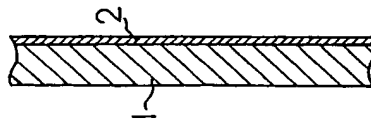
第3図



第2図



第1図



第4図

